

## 研究業績目録

(昭和50年4月より昭和53年3月)

## I. 研究論文

## 1) 薬学雑誌

- (1) 堀 幹夫, 片岡 貞, 清水 洋, 今井 豊, 藤村 一 : Benzothiazoline 誘導体に関する研究 (第1報) 2-Aryl-3-methylbenzothiazoline 類の合成とその酸化開環反応 (95, 634 (1975)).
- (2) 澤 陽一, 増田 亨, 堀 幹夫, 藤村 一 : 鎮痛剤の合成研究 (第7報) 1,2,3,4-Tetrahydro-4,4-dimethylisoquinoline 誘導体の合成 (96, 401 (1976)).
- (3) 杉浦彰治, 加藤 清, 大野左千雄, 大谷 脩, 若山孝熙, 泉喜八郎, 北御門端, 浅井 肇, 加藤和雄, 堀 幹夫, 藤村 一 : pyrazolone および pyprazole 誘導体の合成研究 (第5報) 5-Alkoxy-3-(N-substituted Carbamoyl)-1-substituted phenylpyrazole 誘導体の合成 (97, 719 (1977)).
- (4) 千田重男, 広田耕作, 浅尾哲次 : ピリミジン誘導体とその関連化合物について (第28報) 6-Cyanouracil 誘導体の合成 (95, 1250 (1975)).
- (5) 川島嘉明, 斉藤 勝, 竹中英雄 : 噴霧乾燥造粒に関する研究 (第7報) カプセル化サリチル酸の溶出速度 (97, 335 (1977)).
- (6) 三宅康夫, 豊島昭二, 竹中英雄 : 薬剤粉体の充填における緻密化とバラツキの関係 (96, 116 (1976)).
- (7) 宮坂克彦, 浅野進吾, 北村二郎, 高取吉太郎 : 6-アミノニコチン酸アミド誘導体の合成とその生物活性に関する研究 (95, 547 (1975)).
- (8) 高取吉太郎, 今井一夫, 中埜末春, 長谷川高明, 浅野進吾 : 異項環酸と異項環塩基を縮合した酸アミド型化合物の合成とその制癌作用の検討 (96, 471 (1976)).
- (9) 北村二郎, 嶋みな子, 平塚京子, 浅野進吾 : アンヒドロメバロン酸の微生物活性について (96, 732 (1976)).
- (10) 沢田英夫, 原 明 : Bromazepam の代謝に関する研究 (第5報) 尿中未知代謝産物の同定と各種動物における代謝産物の尿中排泄について (95, 430 (1975)).
- (11) 松浦 信, 飯沼宗和, 伊藤俊子, 黒岩 信, 東 尚子 : フラボン誘導体の合成研究 (第3報) シャルコン誘導体の光化学反応 その1 (96, 393 (1976)).
- (12) 松浦 信, 飯沼宗和 : 資源植物の成分研究 (第4報) 柿蒂の成分について その1 (97, 452 (1977)).

## 2) 衛生化学

- (1) 船坂鐮三, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦 : 長良川の異臭魚に関する研究 (第3報) 異臭魚原因物質としての芳香族炭化水素類 (21, 93 (1975)).
- (2) 船坂鐮三, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦 : 長良川の異臭魚に関する研究 (第4報) 異臭魚原因物質としてのフェノール (21, 101 (1975)).
- (3) 佐藤孝彦, 小瀬洋喜 : 活性汚泥の凝集原因物質に関する研究 (第2報) (21, 55 (1975)).
- (4) 船坂鐮三, 田中一夫, 板垣又丕, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦 : 長良川の異臭魚に関する研究 (第5報) 高分解能ガスクロマトグラフィー質量分析計による異臭原因物質の同定 (21, 341 (1975)).
- (5) 船坂鐮三, 田中一夫, 板垣又丕, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦 : 長良川の異臭魚に関する研究 (第6報) 多量イオン検

出器による異臭物質の Mass Fragmentography (22, 1 (1976)).

(6) 船坂鏡三, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦: 長良川の異臭魚に関する研究 (第7報) 異臭原因物質の Median Tolerance Limit 試験 (22, 20 (1976)).

(7) 福山丈二, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦: 畜舎排水処理に関する研究 (第2報) 畜舎汚水の高濃度好気性処理における浄化機構 (22, 56 (1976)).

(8) 三谷一憲, 星野道雄, 児玉京子, 近藤正人, 小瀬洋喜: 水銀化合物の環境衛生学的研究 (第2報) 一般母体および新生児の水銀汚染レベルについて (22, 327 (1976)).

(9) 三谷一憲, 星野道雄, 児玉京子, 近藤正人, 小瀬洋喜: 水銀化合物の環境衛生学的研究 (第3報) 一般母体における水銀化合物の胎盤透過と胎児への蓄積について (22, 337 (1976)).

(10) 小瀬洋喜, 井上 浩, 佐藤孝彦, 石川哲也, 菅野明男, 小泉 清, 米山悦夫, 林 正孝, 斉藤治子, 元山正: Diethyl-p-phenylenediamine による残留塩素測定法の改良 (23, 39 (1977)).

(11) 三谷一憲, 中田利一, 小瀬洋喜: 水銀化合物の環境衛生学的研究 (第4報) ヒト胎盤における水銀結合蛋白質について (23, 352 (1977)).

(12) 鶴飼茂夫, 広瀬一雄, 河瀬章司: 薬物の裁判化学的研究 (第2報) 覚せい剤混合試料中の  $\ell$ -エフェドリンおよび  $d$ -プソイドエフェドリンのガスクロマトグラフィーによる同時定量 (22, 275 (1976)).

(13) 鶴飼茂夫, 広瀬一雄, 河瀬章司: 薬物の裁判化学的研究 (第3報) 除草剤 Diquat ならびに Paraquat の水素化ホウ素ナトリウム・遷移金属塩 (塩化ニッケル) 系還元成績体のガスクロマトグラフィー (23, 32 (1977)).

(14) 鶴飼茂夫, 広瀬一雄, 河瀬章司: 薬物の裁判化学的研究 (第4報) 水性除草剤中における Morphamquat のガスクロマトグラフィーによる定量 (23, 83 (1977)).

(15) 沢田英夫, 原 明: クロキサゾラムの比色定量 (21, 216 (1975)).

### 3) 日本農芸化学会誌

(1) 鶴飼茂夫, 広瀬一雄, 河瀬章司, 服部卓也, 茅野正利, 白川憲夫, 富岡博実, 岩根吉孝: フェノール類および  $\alpha$ ,  $\beta$ -不飽和ケトン類の含硫誘導体の生育期茎葉処理による殺草活性について (51, 53 (1977)).

(2) 鶴飼茂夫, 広瀬一雄, 河瀬章司, 原 千尋, 木方正, 白川憲夫, 富岡博実, 岩根吉孝: フェノール類の含硫誘導体の播種後土壌処理による殺草活性について (51, 57 (1977)).

### 4) 日本薬理学雑誌

(1) 小木曾太郎, 渡部美保子, 山内恵子, 佐藤多美子, 加藤好夫: 医薬品の毒性予知に関する基礎的研究, 医薬品による *in vitro* 溶血および lysosome lysis (72, 145 (1976)).

(2) 江田昭英, 井上吉郎, 中村邦裕, 森 裕志: 気道分泌についての薬理学的研究 (第1報) 自律神経系作用薬の気道分泌に及ぼす影響 (74, 317 (1978)).

### 5) 生薬学雑誌

(1) 滝 和子, 山崎 太, 水野瑞夫: 香港市場品「蒲黄」の生薬学的研究 (30, 29 (1976)).

(2) 滝 和子, 山崎 太, 水野瑞夫, 久保道德: Swertia 属花粉の形態学的研究 (30, 118 (1976)).

(3) 橋本庸平, 安藤敬子, 水野瑞夫: 薄層クロマトグラフィー-けい光デンシトメトリーによる生薬中のベルベリン成分の定量 (30, 127 (1976)).

(4) 水野瑞夫, 田中俊弘, 福原裕子, 甲谷俊彦, 野呂征男: 薬用植物の植物社会学的研究 (第1報) 植物社会におけるカブダチジャノヒゲの現存量 (乾物量, 糖含量の季節変化) について (31, 87 (1977)).

- (5) 久保道徳, 勝城忠久, 長尾孝治, 水野瑞夫, 大橋広好: 漢薬・葛花の生薬学的研究 (第1報) (31, 136 (1977)).
- (6) 滝 和子, 山崎 太, 水野瑞夫, 久保道徳: 漢薬・葛花の生薬学的研究 (第2報) 花粉形態について (31, 145 (1977)).

#### 6) 粉体工学会誌

- (1) 川島嘉明, 高木宏明, 竹中英雄, C. E. Capes; かくはん槽中での湿式球形造粒速度 (14, 352 (1977)).

#### 7) 材 料

- (1) 竹中英雄, 川島嘉明, 石橋良一: 噴霧乾燥スルフイソミジンの物性と溶出速度 (25, No. 274, 642 (1976)).
- (2) 川島嘉明, C. E. Capes: サスペンション中での二成分混合粉体の球形造粒 (25, No. 274, 637 (1976)).

#### 8) 日本水処理生物学会誌

- (1) 小瀬洋喜, 中島祚仔子, 船坂鐮三, 森下正三, 佐々木佳子: 河川の理化学的性状と生物学的水質階級 (第3報) 大垣市内河川の水質と生物相 (11, (1) 1 (1975)).
- (2) 小瀬洋喜, 中島祚仔子, 船坂鐮三, 鶴飼春夫: 河川の理化学的性状と生物学的水質階級 (第4報) 工場排水路の生物相に関する調査研究 (11, (1) 9 (1975)).
- (3) 小瀬洋喜, 中島祚仔子, 佐々木佳子, 船坂鐮三: 河川の理化学的性状と生物学的水質階級 (第5報) BOD 値と生物相の関係 (11, (2) 1 (1975)).

#### 9) 下水道協会誌

- 佐藤孝彦: BOD の速度定数 (13, (144) 26 (1976)).

#### 10) 用水と廃水

- (1) 吉岡義正, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦: 消化酵素による厨芥処理法に関する研究 (18, (4)15 (1976)).
- (2) 吉岡義正, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦: 散水ろ床のろ材としての布とプラスチック (19, (11)42 (1977)).

#### 11) 悪臭の研究

- (1) 小瀬洋喜, 永瀬久光, 佐藤孝彦, 石川哲也, 森下正三: 悪臭の評価と対策に関する研究 (第4報) オガ粉の悪臭吸着 (6, (2)26 (1977)).
- (2) 山村 優, 山下輝幸, 大石美喜雄, 小瀬洋喜: パーミュレーションチューブ利用による悪臭物質のガスクロマトグラフ測定法の検討 (6, (3)29 (1978)).

#### 12) 水処理技術

- (1) 井上善介, 本多淳裕, 石川哲也: 下水処理施設活性汚泥中の酢酸資化菌とその特性 (15, (3) 223 (1974)).
- (2) 佐藤孝彦: 有機酸に対する活性汚泥の馴致 (17, (3)213 (1976)).

#### 13) 癌と化学療法

- (1) 森 裕志, 永井博弌, 江田昭英:  $N_1$ -(2-tetrahydrofuryl)-5-fluorouracil (FT-207) の抗体産生に及ぼす影響 (4, 797 (1977)).

#### 14) 日本花粉学会会誌

- (1) 滝 和子, 山崎 太, 水野瑞夫, アーネイニルソン: Oil Palm 花粉について (16, 3 (1975)).
- (2) 滝 和子, 山崎 太, 田中俊弘, 水野瑞夫: ジャノヒゲ属, ヤブラン属花粉の形態学的研究 (18, 49 (1976)).
- (3) 水野瑞夫, 山崎 太, 滝 和子: カナダ産 *Typha* sp. 花粉の形態学的研究 (20, 1 (1977)). (英文論文)

#### 15) 北陸の植物

- (1) 水野瑞夫, 田中俊弘, 福原裕子, 甲谷俊彦, 山添賢治: イチイ群落の植物社会学的研究 (25, 100 (1978)).

(英文論文)

16) 日本ツツジ・シャクナゲ協会会報

- (1) 水野瑞夫, 山崎 太: シャクナゲの花粉について (5, 3 (1976)).

17) 長野県植物研究会誌

- (1) 水野瑞夫, 田中俊弘, 福原裕子, 甲谷俊彦: 奥美濃のブナ林について (8, 67 (1975)).  
(2) 水野瑞夫, 田中俊弘, 福原裕子, 甲谷俊彦, 大内幸雄, 岡田 裕: 岐阜県のアカマツ林について (9, 18(1976)).

18) 岐阜大学農学部研究報告

- (1) 岩田悦行, 大内幸雄, 安藤辰夫, 水野瑞夫: 岐阜県の植生概観 (その1) 植生の成立環境 (39, 273 (1976)).

19) 岐阜女子短期大学研究紀要

(1) 吉原壮三郎, 中村 亮, 吉川周子, 小倉ひでみ, 武藤紀久, 久富康子, 平川豊子, 山口京子, 西田恵子, 永田捷一, 中神 勝, 西田弘之, 山中市衛, 岡田 勇, 楯 博, 三浦善憲, 下村義夫, 賀川千賀代: 岐阜県における僻地住民の栄養学的ならびに衛生学的研究 IV. 坂内村について (25, 68~111 (1975)).

(2) 中村 亮, 西田恵子, 吉原壮三郎, 吉川周子, 武藤紀久, 小倉ひでみ, 久富康子, 平川豊子, 永田捷一, 中神勝, 西田弘之, 山中市衛, 加藤道子, 杉山寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 板垣美知子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 I 網代地区北部 第1報 一般公衆衛生状況について (26, 66 (1976)).

(3) 吉川周子, 久富康子, 吉原壮三郎, 中村 亮, 武藤紀久, 小倉ひでみ, 平川豊子, 西田恵子, 永田捷一, 中神勝, 西田弘之, 山中市衛, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 板垣美知子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 I 網代地区北部 第2報 栄養摂取状況について (26, 75 (1976)).

(4) 吉原壮三郎, 小倉ひでみ, 平川豊子, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 板垣美知子, 中村 亮, 吉川周子, 武藤紀久, 久富康子, 西田恵子, 永田捷一, 中神勝, 西田弘之, 山中市衛: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 I 網代地区北部 第3報 身体状況について (26, 85 (1976)).

(5) 武藤紀久, 中神 勝, 山中市衛, 西田弘之, 吉原壮三郎, 中村 亮, 吉川周子, 小倉ひでみ, 久富康子, 平川豊子, 西田恵子, 永田捷一, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 板垣美知子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 I 網代地区北部 第4報 地区住民の体格, 体力および疲労症状調査成績 (26, 90 (1976)).

(6) 中村 亮, 西田恵子, 吉原壮三郎, 吉川周子, 武藤紀久, 小倉ひでみ, 永田捷一, 中神 勝, 西田弘之, 山中市衛, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 板垣美和子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 I 網代地区北部 第5報 貧血の要因について (27, 68 (1977)).

(7) 中村 亮, 西田恵子, 吉原壮三郎, 吉川周子, 武藤紀久, 小倉ひでみ, 清水英世, 中島順一, 赤塚嘉代子, 小川芳子, 永田捷一, 中神 勝, 西田弘之, 山中市衛, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 桑田佳代子, 吉田法子, 安木淳子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 II 三輪北地区 第1報 一般公衆衛生状況について (27, 76 (1977)).

(8) 吉川周子, 中島順一, 桑田佳代子, 吉原壮三郎, 中村 亮, 武藤紀久, 小倉ひでみ, 清水英世, 西田恵子, 赤塚嘉代子, 小川芳子, 永田捷一, 中神 勝, 西田弘之, 山中市衛, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 吉田法子, 安木淳子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 II 三輪北地区 第2報 (その1) 栄養摂取状況・食物消費構造について (27, 86 (1977)).

(9) 吉川周子, 中島順一, 桑田佳代子, 吉原壮三郎, 中村 亮, 武藤紀久, 小倉ひでみ, 清水英世, 西田恵子, 赤

塚嘉代子, 小川芳子, 永田捷一, 中神 勝, 西田弘之, 山中市衛, 加藤道子, 杉山寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 吉田法子, 安本淳子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 II 三輪北地区 第2報 (その2) 「食生活に関するアンケート」について (27, 95 (1977)).

(10) 吉原壮三郎, 小倉ひでみ, 清水英世, 赤塚嘉代子, 小川芳子, 加藤道子, 杉山 寿, 古田ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 吉田法子, 安本淳子, 中村 亮, 吉川周子, 武藤紀久, 西田恵子, 中島順一, 永田捷一, 中神 勝, 西田弘之, 山中市衛, 桑田佳代子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 II 三輪北地区 第3報 身体状況について (27, 102 (1977)).

(11) 武藤紀久, 中神 勝, 山中市衛, 西田弘之, 吉原壮三郎, 中村 亮, 吉川周子, 小倉ひでみ, 清水英世, 中島順一, 西田恵子, 赤塚嘉代子, 小川芳子, 永田捷一, 加藤道子, 杉山寿, 古田 ひさゑ, 田中美代子, 戸本一世, 桑田佳代子, 吉田法子, 安本淳子: 岐阜市における住民の栄養学的並びに衛生学的研究 II 三輪北地区 第4報 地区住民の体格, 体力および健康調査成績 (27, 109 (1977)).

(12) 中村 亮, 西田恵子, 小倉ひでみ, 武藤紀久, 井山洋子, 高橋邦郎, 村松常司, 中神勝, 西田弘之, 山中市衛: 木曾三川下流部の水質調査成績について (26, 109 (1976)).

## 20) 岐阜薬科大学紀要

(1) 小瀬洋喜, 佐藤孝彦, 船坂鎌三, 森下正三, 井上 浩, 木村博郎, 吉井誠治, 山田 浩, 川崎安夫: 都市河川の曝気浄化処理に関する研究 (24, 1 (1975)).

(2) 小瀬洋喜, 森下正三, 佐藤孝彦, 石川哲也: 環境アセスメントに関する研究 (第1報) 住宅適地の選定についての環境アセスメント (25, 35 (1977)).

(3) 石川哲也, 福山丈二, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦: し尿処理に関する研究 (第7報) 無希釈し尿の好気性処理施設からの浄化細菌の分離とそのアミノ酸分解能 (26, 8 (1978)).

(4) 渡辺茂勝, 坂本憲市, 片野田繁, 江田昭英: 抗 histamine 剤による接触性皮膚過敏症惹起についての検討 (25, 20 (1977)).

(5) 永井博弐, 市川昌和, 江田昭英: Forssman shock (FS) についての免疫薬理学的研究 (26, 1 (1978)).

(6) 水野瑞夫, 田中俊弘, 甲谷俊彦, 福原裕子, 鈴木智子, 大内幸雄: 御岳のオオバグサ自生地の植生について (24, 21 (1975)).

(7) 滝 和子, 山崎 太, 水野瑞夫: 岐阜市三田洞地区における空中花粉について (25, 1 (1977)).

(8) 水野瑞夫, 田中俊弘: ジャノヒゲ属, ヤブラン属植物自生地の植物社会について, 岐阜県および近県の植物に関する研究 V (25, 10 (1977)).

(9) 水野瑞夫: 植物相から見た岐阜県における自然環境保全に対する問題点とその実際 (26, 56 (1978)).

(10) 中神 勝, 西田勝, 西田弘之, 中村 亮, 武藤紀久, 山中市衛: 栄養摂取量と形態, 機能との関係について (その1) 岐阜県下山間部僻地住民に関する成績 (25, 45 (1977)).

(11) 中神 勝, 西田弘之, 中村亮, 武藤紀久, 山中市衛: 栄養摂取量と形態, 機能との関係について (その2) 岐阜県下山間部僻地住民に関する成績 (26, 23 (1978)).

(12) 吉田甚吉: 製薬企業の高収益性について (26, 41 (1978)).

## 21) Chemical and Pharmaceutical Bulletin (Tokyo)

(1) KENJI KAJI and MASAMI KAWASE: Synthesis of Imidazo [4,5-e]-as-triazine (6-Azapurine) Derivatives (24, 2274 (1976)).

- (2) YASUO INUBUSHI, YOSHIKUNI ITO, YUKIO MASAKI and TOSHIRO IBUKA : Synthesis of Trilobine, Isotrilobine, and Obaberine (25, 1636 (1977)).
- (3) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA and TETSUJI ASAO : Pyrimidine Derivatives and Related Compounds. XXVII. Reaction of 6-Cyano-1,3-dimethyluracil with Nucleophiles (23, 1708 (1975)).
- (4) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, MIKIO SUZUKI and MIKIO TAKAHASHI : Pyrimidine Derivatives and Related Compounds. XXIX. Photoreductive Cyclization of 5-Nitro-6-styryl (or anilino) uracil Derivatives to Pyrrolo [3,2-d] pyrimidine and Alloxazine Derivatives (25, 563 (1977)).
- (5) YOICHI SAWA, TAKESHI KATO, TORU MASUDA, MIKIO HORI, and HAJIME FUJIMURA : Studies on the Syntheses of Analgesics. IV. Syntheses of 1,2,3,4-Tetrahydro-5H-benzazapine Derivatives (23, 1917 (1975)).
- (6) YOICHI SAWA, YOSHIYUKI KAWAKAMI, TOSHINORI HATTORI, TORU MASUDA, MIKIO HORI, and HAJIME FUJIMURA : Studies on the Syntheses of Analgesics. V. Synthesis of 1,2,3,4,5,6-Hexahydro-3-benzazocine Derivatives. (3) (23, 2211 (1975)).
- (7) YOICHI SAWA, TAKESHI KATO, TORU MASUDA, MIKIO HORI, and HAJIME FUJIMURA : Studies on the Syntheses of Analgesics. VI. Synthesis of 1,2,3,4,5,6-Hexahydro-1,5-methano-3-benzazocine Derivatives (23, 1932 (1975)).
- (8) MASATOSHI BAN, YUTAKA BABA, KENJI MIURA, YASUAKI KONDO, KENJI SUZUKI, and MIKIO HORI : A Novel Ring System,  $\alpha$ -Thieno-[4,3-f] morphan (24, 1679 (1976)).
- (9) MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, HIROSHI SHIMIZU, and YUTAKA IMAI : A New Aspect on Alkylation of Benzothiazolines (25, 1482 (1977)).
- (10) KAZUHIKO HANAI and TAKACHIYO OKUDA : Preparation of Methanesulfonyl Chloride- $d_6$  from Dimethyl Sulfoxide- $d_6$  (25, 815 (1977)).
- (11) HARUMI NARUSE, NAOKO KATO, EMIKO NASU, SATOSHI KAWAI, KEIJI HASHIMOTO, YOSHIO MASADA and TAKEO OHNO : Gas Chromatographic Determination of Urinary Indole-3-acetic Acid. (25, 2032 (1977)).
- (12) SHIKIFUMI KITAZAWA, HAJIME ITO and HITOSHI SEZAKI : Transmucosal Fluid Movement and Its Effects on Drug Absorption (23, 1856 (1975)).
- (13) SHIKIFUMI KITAZAWA, HAJIME ITO and MASAOKI IINUMA : Effects of Tonicities and Solutes of Solutions on the Lethality and the Survival Time after Intraduodenal Administration of Ephedrine Hydrochloride in Mice (23, 2128 (1975)).
- (14) SHIKIFUMI KITAZAWA, HAJIME ITO and HITOSHI SEZAKI : Segmental Difference in Transmucosal Fluid Movement and Glucose Effect on Drug Absorption from Rat Gastrointestinal Tract (25, 19 (1977)).
- (15) SHIKIFUMI KITAZAWA, IKUO JOHNO, HAJIME ITO, FUMIE MORITSUJI and HIDEO TAKENAKA : Transmucosal Fluid Movement and Its Effect on Rectal Sulfanilamide Absorption in Rat (25, 1839 (1977)).
- (16) SHIKIFUMI KITAZAWA, IKUO JOHNO and HAJIME ITO : Studies on Characteristics of Drug

Exsorption Across the Membrane of Rat Small Intestine (25, 2812 (1977)).

(17) SHIKIFUMI KITAZAWA, HAJIME ITO, IKUO JOHNO, TERUTAKA TAKAHASHI and HIDEO TAKENAKA : Generality in Effects of Transmucosal Fluid Movement and Glucose on Drug Absorption from the Rat Small Intestine (26, 915 (1978)).

(18) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE, TADASHI KIHO and CHIHIRO HARA : Polysaccharides in Fungi. II. Structural Analysis of Acid Heteroglycans from *Tremella fuciformis* BERK (25, 338 (1977)).

(19) SHIGEO UKAI, TADASHI KIHO, CHIHIRO HARA and KAZUO HIROSE : Polysaccharides in Fungi. III. A Neutral Heteroglycan from Alkaline Extract of *Tremella fuciformis* BERK (26, 1707 (1978)).

(20) SHIGEO UKAI, CHIHIRO HARA, TADASHI KIHO and KAZUO HIROSE : Polysaccharides of Azuki Beans. I. Neutral Homopolysaccharides "Arabinans" from Alkaline Extract of the Seeds of *Phaseolus radiatus* L. Var. *aurea* PRAIN (26, 1729 (1978)).

(21) TARO OGISO, SATOMI IMAI, REIKO HOZUMI, MASAYUKI KUROBE and YOSHIO KATO : Effect of Drugs on Human Erythrocytes. I. Morphological Changes and Increase in Fragility of Erythrocytes treated with Drugs (24, 479 (1976)).

(22) TARO OGISO, KAZUNORI KUHARA, NOBUTAKA NODA and YOSHIO KATO : Effect of "Drugs for Liver Disease" on Hepatotoxic Action of Carbon Tetrachloride. III. Effect of Protoporphyrin and Phosphorylcholine on Injured Microsomal Membrane (24, 1893 (1976)).

(23) TARO OGISO, KAZUNORI KUHARA, TAKASHI KOBAYASHI, HIROYUKI MASUDA and YOSHIO KATO : Effect of "Drugs for Liver Disease" on Hepatotoxic Action of Carbon Tetrachloride. IV. Relationship between Fatty Acid Composition of Phospholipids and Drug Monooxygenation Activity in Rat Liver Microsomes and Role of Phosphorylcholine (25, 87 (1977)).

(24) TARO OGISO, MASAYUKI KUROBE, HIROYUKI MASUDA and YOSHIO KATO : Effect of Drugs on Human Erythrocytes. II. A Possible Mechanism of Drug-induced Hemolysis (25, 1078 (1977)).

(25) TARO OGISO, SANAE OUE and HIROYUKI MASUDA : Effect of Drugs on Human Erythrocytes. III. Protecting Effect of Chondroitin Sulfate on Drug-induced Hemolysis (25, 3034 (1977)).

(26) HARUAKI YAJIMA, MASAYUKI KUROBE, IKUKO YO, NOBUTAKA FUJII and YOSHIHIKO BABA : Studies on Peptides. LI. Application of the Solid Phase Synthesis for the Preparation of Pro-Analogues of LH and FSH Releasing Hormone (23, 1622 (1975)).

(27) HARUAKI YAJIMA, HIROSHI OGAWA, HIDEHIKO WATANABE, NOBUTAKA FUJII, MASAYUKI KUROBE and SEIJI MIYAMOTO : Studies on Peptides. XLVIII. Application of the Trifluoromethanesulphonic Acid Procedure to the Synthesis of Tuftsin (23, 371 (1975)).

(28) SHIN MATSUURA, MUNEKAZU IINUMA, KIMIKO ISHIKAWA and KENGO KAGEI : Synthetic Studies of the Flavone Derivatives. V. The Use of DDQ in the Dehydrogenation of Flavanones. (1). (26, 305 (1978)).

(29) SHIN MATSUURA and MUNEKAZU IINUMA : Studies on the Constituents of Useful Plants. VI. Constituents of the Calyx of *Diospyros kaki* (2), and Carbon-13 Nuclear Magnetic Resonance Spectra

of Flavonol Glycosides. (26, 1936 (1978)).

(30) YOSHIFUMI MAKI, KOJI OZEKI and MIKIO SUZUKI : Studies of Alicyclic  $\alpha$ -Amino Acids and Their Derivatives V. Decyanization of Alicyclic  $\alpha$ -Acetylamino nitriles (23, 1619 (1975)).

(31) YOSHIFUMI MAKI : Reduction of the Amidine C=N Bond of 7-Aminofurazano [3,4-d] pyrimidine with Sodium Borohydride (24, 235 (1976)).

(32) YOSHIFUMI MAKI and MAGOICHI SAKO : Facile Thermal Dimerization of a Photochemically Isomerized Olefin (24, 2250 (1976)).

(33) YOSHIFUMI MAKI and TOKIYUKI HIRAMITSU : Pyrimido-1,4-benzothiazines and -1,4-benzothiazepines I. Oxidative Coupling and Pummerer Rearrangement of Pyrimido-1,4-benzothiazine and its sulfoxide (24, 3135 (1976)).

(34) YOSHIFUMI MAKI and TOKIYUKI HIRAMITSU : Pyrimido-1,4-benzothiazines and -1,4-benzothiazepines II. Thermal and Photochemical Rearrangement of Pyrimido-1,4-benzothiazine Sulfonium Ylides (25, 292 (1977)).

(35) MAGOICHI SAKO and YOSHIFUMI MAKI : Thermal Reaction of 4-Benzothiazole Dithioazetidiones. Novel Formation of Isothiazolone Derivatives (26, 1236 (1978)).

(36) YUKIO MORI, KAZUMI TOYOSHI and SHIGEO BABA : Studies on Carcinogenic Azo Dyes. V. The NIH Shift during the Aryl Hydroxylation of 3'-Methyl-4-(dimethylamino)azobenzene and 3-Methylacetanilide by the Rat (24, 865 (1976)).

(37) YUKIO MORI, KAZUMI TOYOSHI and SHIGEO BABA : Studies on Carcinogenic Azo Dyes. VI. Effect of Factors Influencing Drug Metabolism on the NIH Shift during Hydroxylations of 4-Dimethylamino-3'-methylazobenzene and 3-Methylacetanilide (24, 509 (1976)).

(38) YUKIO MORI, KAZUMI TOYOSHI, SHIGEO BABA and YASUJI KASUYA : Studies on Carcinogenic Azo Dyes. VII. Changes in the Hepatic Activities of 3'-Me-DAB Metabolism by Rat, Mouse, and Hamster during the Repeated Administration of 3'-Me-DAB (24, 2279 (1976)).

(39) YUKIO MORI, KAZUMI TOYOSHI and SHIGEO BABA : Aryl Hydroxylation of 3-Methylacetanilide [ $4\text{-}^2(3)\text{H}$ ] by Several Model Systems (24, 1387 (1976)).

## 22) Heterocycles

(1) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA and TETSUJI ASAO : Dealkylation of 1-sec-Alkyl-6-carbamoyl (or cyano) -3-methyluracils under Acidic Conditions (3, 213 (1975)).

(2) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA and MIKIO TAKAHASHI : Photoreductive Cyclization of 5-Nitro-6-styryl (or anilino) uracil Derivatives to Pyrrolo [3, 2-d] pyrimidine and Alloxazine Derivatives (4, 461 (1976)).

(3) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, TETSUJI ASAO and YOSHIHIRO YAMADA : Reaction of 5-Nitouracil Derivatives with Hydrazine and Potassium Cyanide (4, 1765 (1976)).

(4) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, TETSUJI ASAO and YOSHIO ABE : Ring Transformation of Uracils to 2-Pyridones. Hydrolysis of 6-(2-Dimethylaminovinyl)uracils (9, 739 (1978)).

(5) MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, HIROSHI SHIMIZU, and HARUMI AOKI : Reactions of



Stable Ylidic 1-Thianaphthalene with Electrophiles. A New Ring Expansion Reaction (5, 413 (1976)).

(6) MITSUHIKO OKITSU, HIROSHI SHIMIZU, TADASHI KATAOKA, and MIKIO HORI : A Novel Ring Contraction of 4-Bromo-2,3-dihydrodibenzo[b]thiepin-5(4H)-one (6, 1877 (1977)).

(7) MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, HIROSHI SHIMIZU, and SACHIO OHNO : Reactions of New Cyclic Sulphur 1,4-Ylide, 9-Cyano-10-methyl-10-thiaanthracene with Electrophiles (7, 863 (1977)).

### 23) Chemistry Letters

YOSHIFUMI MAKI, MASAO KAWAMURA, HISANORI OKAMOTO and KENJI KAJI : Photochemistry of 3-Oxidopyridazinium Betaines. Isolation and Reaction of New Fused-diaziridine (1005 (1977)).

### 24) The Journal of Antibiotics

URI REICHMAN, KOSAKU HIROTA, CHUNG K. CHU, KYOICHI A. WATANABE and JACK J. FOX : Syntheses of 1-N-methyl-5-( $\beta$ -D-ribofuranosyl)uracil (1-N-methyl- $\psi$ -uridine) and its Identity with a Metabolite Elaborated by *Streptomyces Platensis* var. *Clarensis* (30, 129 (1977)).

### 25) Journal of The Chemical Society Perkin Transactions I

(1) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA and MIKIO TAKAHASHI : Pyrimidine Derivatives and Related Compounds. Part XXVI. Oxidative and Non-oxidative Photocyclisations of 5- and 6-Phenylthio- and Anilino-1,3-dimethyluracils to Benzothienopyrimidines and Pyrimidoindoles (503 (1975)).

(2) TOKIYUKI HIRAMITSU, YOSHIFUMI MAKI and SHIGEO SENDA : Pyrimido [1,4] benzothiazines and Pyrimido [1,5] benzothiazepines. Part 3 Novel Ring-contraction and Ring-opening of Pyrimido [1,5] benzothiazepines (716 (1978)).

### 26) Journal of The Chemical Society Chemical Communications

(1) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, MIKIO SUZUKI, TETSUJI ASAO and KAZUO MARUHASHI : New Photochemical Synthesis of 6-Alkylamino-5-amino-1,3-dimethyluracils from 6-Azido-1,3-dimethyluracil and Amines (731 (1976)).

(2) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, TETSUJI ASAO and YOSHIHIRO YAMADA : New Synthesis of Pyrazolo [4,3-d] pyrimidines (556 (1977)).

(3) YOSHIFUMI MAKI, TAKASHI FURUTA, MASAYUKI KUZUYA and MIKIO SUZUKI : Photochemistry of *o*-Nitrobenzaldehyde *N*-Acetyl-*N*-Alkylhydrazones Resulting in the Formation of Benzyne (616 (1975)).

(4) KAZUHISA HAYASHI, SATOSHI KAWAI, TAKEO OHNO and YOSHIFUMI MAKI : Photometallation of Inorganic Mercury by Aliphatic  $\alpha$ -Amino Acids (158 (1977)).

(5) TOKIYUKI HIRAMITSU and YOSHIFUMI MAKI : Synthesis of 10-Thiaisoalloxazines (158 (1977)).

### 27) Tetrahedron Letters

(1) PAUL A. GRIECO, JOSE A. NOGUEZ and YUKIO MASAKI : Total synthesis of Deoxyvernolepin (4213 (1975)).

(2) Y. INUBUSHI, Y. ITO, Y. MASAKI and T. IBUKA : Total Synthesis of Bisbenzylisoquinoline Alkaloids, Trilobine and Obaberine (2857 (1976)).

- (3) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, TETSUJI ASAO, KAZUO MARUHASHI and NORIHIKO KITAMURA : A Novel Ring Expansion of Pyrimidines to 1,3,5-Triazepines (1531 (1978)).
- (4) MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, HIROSHI SHIMIZU, SACHIO OHNO, and KEN'ICHI NARITA : Synthesis and Properties of the First Crystalline 1,4-Ylide, 9-Cyano-10-methyl-10-thiaanthracene (251 (1978)).
- (5) MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, HIROSHI SHIMIZU, and SACHIO OHNO : New Rearrangement of 1,4-Ylidic Thiaanthracenes via Radicals (255 (1978)).
- (6) HAROLD HART and MIKIO SUZUKI : Trapping of a *Trans* Intermediate in the Photodimerization of a Benzo-2,4-cycloheptadienone (3447 (1977)).
- (7) HAROLD HART and MIKIO SUZUKI : Unusual Photodimers from a Naphtho-2,4-cycloheptadienone : Evidence for *Trans* Intermediates (3451 (1975)).
- (8) HAROLD HART and MIKIO SUZUKI : Photochemistry of a 2,3-Benzo-2,4-cyclooctadienone : Isolation of 4-*Trans* Isomer (4327 (1975)).
- (9) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI and KOJI OZEKI : Reduced Adenines. Reduction of Adenines with Sodium Borohydride (1199 (1976)).
- (10) YOSHIFUMI MAKI and MAGOICHI SAKO : Novel Photoreactions of Isothiazolone Derivatives (375 (1976)).
- (11) YOSHIFUMI MAKI and MAGOICHI SAKO : Facile Photorearrangement of Aromatic Disulfides (851 (1976)).
- (12) YOSHIFUMI MAKI and MAGOICHI SAKO : Photochemical Formation of 3-Methylenecepham (4291 (1976)).

## 28) Synthesis

- (1) TOKIYUKI HIRAMITSU and YOSHIFUMI MAKI : A Mannich-Type Cyclisation to Thiazepines. Synthesis of Pyrimido[5,4-f]benzo[b]-1,4-thiazepines, a New Tricyclic System (177 (1977)).
- (2) YOSHIFUMI MAKI and TAKASHI FURUTA : Photolysis of *o*-Nitrobenzaldehyde *N*-Acylhydrazones. A New Preparative Method for 1-Substituted 5-Nitrothalazines (263 (1976)).
- (3) YOSHIFUMI MAKI and TAKASHI FURUTA : Photolysis of *N*-Phenyl-2-nitrobenzhydrazonyl Bromides. A Photochemical Formation of 3-Phenyl-4(3H)-1,2,3-benzotriazinones (382 (1978)).

## 29) Journal of The American Chemical Society

- (1) PAUL A. GRIECO, YUKIO MASAKI and D. BOXLER : Sesterterpenes. I. Stereospecific Total Synthesis of Moenocinol (97, 1597 (1975)).
- (2) PAUL A. GRIECO, CHESTER S. POGONOWSKI, STEVEN D. BURKE, MUGIO NISHIZAWA, MASAOKI MIYASHITA, YUKIO MASAKI, C.-L. J. WANG and G. MAJETICH : Total Synthesis of Racemic 12-Methylprostaglandins (99, 4111 (1977)).
- (3) SHIGEO SENDA, KOSAKU HIROTA, TETSUJI ASAO and KAZUO MARUHASHI : A New Photochemical Synthesis of Lumazines and Fervenuilins from 6-Azido-1,3-dimethyluracil (99, 7358 (1977)).
- (4) HAROLD HART and MASAYUKI KUZUYA : Pyramidal Bis-homo (CH)<sub>5</sub><sup>+</sup>-type Carbocations.

Effects of Phenyl Substitution at Basal Positions (97, 2450 (1975)).

(5) HAROLD HART and MASAYUKI KUZUYA: Effect of a Methyl Substituent at the Apical Carbon on the Stability of a Bishomo Pyramidal Carbocation and the Degenerate Rearrangements of the Nonamethylbicyclo [3.2.1] octa-3,6-dien-2-yl Cation (97, 2459 (1975)).

(6) HAROLD HART and MASAYUKI KUZUYA: Rearrangement of Nonamethylbicyclo [3.2.1] octa-3,6-dien-2-yl Cation to the Corresponding [3.3.0] Cation (98, 1545 (1976)).

(7) HAROLD HART and MASAYUKI KUZUYA: Circumambulation, Bridge Shifts, and Cyclopropylcarbinyl Rearrangements in Bicyclo [3.2.1] octadienyl Carbocations (98, 1551 (1976)).

(8) YOSHIFUMI MAKI and MAGOICHI SAKO: A Novel Photorearrangement of Cephalosporins (97, 7168 (1975)).

(9) YOSHIFUMI MAKI and MAGOICHI SAKO: Photochemical Formation and Degradation of Cephalosporins (99, 509 (1977)).

(10) EZRA DUNKELBLUM, HAROLD HART and MIKIO SUZUKI: *Trans* Intermediates in Benzo-cycloheptadienone Photochemistry (99, 5074 (1977)).

(11) MIKIO SUZUKI, HAROLD HART, ERZA DUNKELBLUM and WOLFGANG LI: Photochemistry of 2,3-Benzo-2,4-cyclooctadienones: Isolation and Chemistry of  $\Delta^{4,5}$ -*Trans* Isomers (99, 5083 (1977)).

### 30) Journal of Organic Chemistry

(1) PAUL A. GRIECO and YUKIO MASAKI: Synthesis of the Valeriana Waalichi Hydrocarbon Sesquiterpene. A Route to Specifically Functionalized 7,7-Disubstituted Bicyclo [2.2.1] heptane Derivatives (40, 150 (1975)).

(2) PAUL A. GRIECO, YUKIO MASAKI and DENA BOXLER: The Total Synthesis of ( $\pm$ )-Diumycinol (40, 2261 (1975)).

(3) PAUL A. GRIECO, J. A. NOGUEZ and YUKIO MASAKI: ( $\pm$ )-Deoxyvernolepin. A Cytotoxic Vernolepin Prototype (42, 495 (1977)).

(4) KOSAKU HIROTA, KYOICHI A. WATANABE and JACK J. FOX: Pyrimidines. 14. Novel Pyrimidine to Pyrimidine Transformation Reactions and Their Application to C-Nucleoside Conversion. A Facile Synthesis of Pseudoisocytidine (43, 1193 (1978)).

### 31) The Journal of Medicinal Chemistry

(1) PAUL A. GRIECO, J.A. NOGUEZ, YUKIO MASAKI, K. HIROI and M. NISHIZAWA: Synthesis of Mono- and Bifunctional  $\alpha$ -Methylene Lactone Systems as Potential Tumor Inhibitors (20, 71 (1977)).

(2) SHOJI SUGIURA, SACHIO OHNO, OSAMU OHTANI, KIHACHIRO IZUMI, TADASHI KITAMIKADO, HAJIME ASAI, KAZUO KATO, MIKIO HORI, and HAJIME FUJIMURA: Syntheses and Antiinflammatory and Hypnotic Activity of 5-Alkoxy-3-(N-substituted carbamoyl)-1-phenylpyrazoles. 4 (20, 80 (1977)).

### 32) Journal of Heterocyclic Chemistry

KOSAKU HIROTA, KYOICHI A. WATANABE and JACK J. FOX: Pyrimidines. XIII. Novel Pyrim-

idine to Pyrimidine Transformation Reactions (14, 537 (1977)).

### 33) Journal of the Labeled Compounds

B. R. VISHNUVAJJALA, TADASHI KATAOKA, F. D. CAZER, D. T. WITIAK, and L. MALSPEIS : Synthesis of  $^{14}\text{C}$ -14-Adriamycin (14, 77 (1978)).

### 34) Spectrochimica Acta

(1) KAZUHIKO HANAI, TAKACHIYO OKUDA, TOYOZO UNO and KATSUNOSUKE MACHIDA : Infrared Spectra of Methanesulfonamide and its C-and N-Deuterated Compounds (31A, 1217 (1975)).

(2) KAZUHIKO HANAI, TAKACHIYO OKUDA and KATSUNOSUKE MACHIDA : Vibrational Spectra of Methanesulfonyl Chloride and Methanesulfonyl Chloride- $\text{d}_3$  (31A, 1227 (1975)).

### 35) Journal of Chromatography

(1) TERUYUKI SUGIURA, TOKISHI HAYASHI, SATOSHI KAWAI and TAKEO OHNO : High-speed Liquid Chromatographic Determination of Putrescine, Spermidine and Spermine. (110, 385 (1975)).

(2) TOKISHI HAYASHI, TERUYUKI SUGIURA, HISAYA TERADA, SATOSHI KAWAI and TAKEO OHNO : High-speed Liquid Chromatographic Determination of Phenylpyruvic Acid. (118, 403 (1976)).

(3) HISAYA TERADA, TOKISHI HAYASHI, SATOSHI KAWAI and TAKEO OHNO : High-performance Liquid Chromatography Determination of Pyruvic Acid and  $\alpha$ -Ketoglutaric Acid in Serum. (130, 281 (1977)).

(4) TOKISHI HAYASHI, TERUYUKI SUGIURA, SATOSHI KAWAI and TAKEO OHNO : High-speed Liquid Chromatographic Determination of Putrescine, Spermidine and Spermine in Human Urine. (145, 141 (1978)).

### 36) Powder Technology

YOSHIAKI KAWASHIMA and C.E. CAPES : Further Studies of the Kinetics of Spherical Agglomeration in a Stirred Vessel (13, 279 (1976)).

### 37) Journal of Pharmaceutical Science

YOSHIAKI KAWASHIMA : Reduced Acid Neutralizing Velocity of Spray-dried Agglomerated Magnesium Carbonate (65, 771 (1976)).

### 38) Drug Development and Industrial Pharmacy

HIDEO TAKENAKA, YOSHIAKI KAWASHIMA and RYOICHI ISHIBASHI : Some Physicochemical Characteristics of Agglomerates and Microcapsules of Sulfisomidine Spray-dried from Aqueous Slurries and Ammonium Solutions (3, 459 (1977)).

### 39) Toxicology & Applied Pharmacology

KATSUHIKO NAKAMURO, YASUYOSHI SAYATO, YOUKI OSE : Studies on Selenium-Related Compounds IV. Biosynthesis of Diethyl Selenide in Red Liver after Oral Administration of Sodium Selenate. (39, (3)521 (1977)).

### 40) Journal of Biochemistry (Tokyo)

(1) TARO OGISO, TAKAO NODA, YUKO SAKO, YOSHIO KATO and MASAHIDE AOYAMA : Studies on Trypsin Inhibitor in Barley. I. Purification and Some Properties (78, 9 (1975)).

(2) TARO OGISO, MASAHIDE AOYAMA, MIHOKO WATANABE and YOSHIO KATO : Studies on Barley Trypsin Inhibitor. II. Structural Changes Induced by Denaturants and Their Reversibility (79, 321 (1976)).

#### 41) Japanese Journal of Pharmacology

(1) TARO OGISO, TAKASHI KOBAYASHI and YOSHIO KATO : Effect of "Drugs for Liver disease" on Hepatotoxic Action of Carbon Tetrachloride. I. Changes of Lysosomal Enzyme Levels and Effect of Protoporphyrin on the Levels (25, 401 (1975)).

(2) TARO OGISO, TAKASHI KOBAYASHI, KAZUNORI KUHARA and YOSHIO KATO : Effect of "Drugs for Liver Disease" on Hepatotoxic Action of Carbon Tetrachloride. I. Effect of Protoporphyrin and Phosphorylcholine on Microsomal Drug-metabolizing Enzyme Activities and the Components in Injured Liver (25, 411 (1975)).

(3) TARO OGISO, NOBUTAKA NODA, NOBUYOSHI ASAI and YOSHIO KATO : Antitumor Agents. I. Effect of 5-Fluorouracil and Cyclophosphamide on Liver Microsomes and Thymus of Rat (26, 445 (1976)).

(4) TARO OGISO, NOBUTAKA NODA, HIROYUKI MASUDA and YOSHIO KATO : Antitumor Agents. II. Effect of 5-Fluorouracil and Cyclophosphamide on Immunological Parameters and Liver Microsomes of Tumor-bearing Rats (28, 175 (1978)).

(5) HIROICHI NAGAI, KUNIO OSUGA and AKIHIDE KODA : Inhibition of hypersensitivity reactions by soluble derivatives of baicalein (25, 763 (1975)).

(6) AKIHIDE KODA, SHIGEKATSU WATANABE, YUKITOSHI YANAGIHARA, HIROICHI NAGAI and KENICHI SAKAMOTO : A comparative study of the anti-allergic effects of disodium baicalein 6-phosphate (BSA) and disodium cromoglycate (DSCG) (27, 31 (1977)).

#### 42) Clinical Chemistry

HIDEO SAWADA, AKIRA HARA, SHINGO ASANO and YASUHIRO MATSUMOTO : Isolation and Identification of Benzodiazepine Drugs and Their Metabolites in Urine by Use of Amberlite XAD-2 Resin and Thin-layer Chromatography (22, 1596 (1976)).

#### 43) Experientia

HIDEO SAWADA and AKIRA HARA : Novel Metabolite of Nitrazepam in the Rabbit Urine (32, 987 (1976)).

#### 44) The Journal of Allergy and Clinical Immunology

AKIHIDE KODA, HIROICHI, NAGAI, SHIGEKATSU WATANABE, YUKIYOSHI YANAGIHARA and KENICHI SAKAMOTO : Inhibition of hypersensitivity reactions by a new drug, N-(3', 4'-dimethoxy-cinnamoyl) anthranillic acid (N-5') (57, 936 (1976)).

#### 45) International Archives of Allergy and Applied Immunology

(1) HIROICHI NAGAI, KEN KELLY and ALEC H. SEHON : Antigen-, anti-F(ab')<sub>2</sub>- and anti-IgE-induced histamine release from rat mast cells (56, 264 (1978)).

(2) HIROICHI NAGAI, KEN KELLY and ALEC H. SEHON : The inhibition of histamine release

by antiallergic drugs (56, 307 (1978)).

#### 46) EUPHORIA et CACOPHORIA

KASUKE ITO, JIRO KITAMURA and TOSHIHARU NOMURA : the influence of Polyene Antibiotics on the Permeability of the Cell Membrane of *Candida albicans* and polyene resistant Mutant. (2, 20 (1975)).

#### 47) Acta Medica Universitatis Kagoshimaensis

KEIDA KITAHARA, MASAMI TOGO, TAKAHIKO SATO, NORIKO WATANABE, MUNEYA YAITA, MITSUKI YOSHIOKA, MASAHIRO TAKARA, MORIHIRO NISHIHARA, SUSUMU YAMAMOTO, MINORU NOHARA et YAHACHIRO KEIDA : Les microclimates des maisons et les températures de peau des personnes au sud du Japon. (18, 21 (1976)).

#### 48) Pacific Journal of Mathematics

AKIO OSADA : On the Distribution of  $a$ -Points of A Strongly Annular Function (68, 2 (1977)).

#### 49) Japanese Journal of Applied Physics

(1) TSUNEO BAN and TADASHI SEKIGUCHI : Experimental and Theoretical Studies on Weakly-Ionized, Steady Rotating Plasma (15, 115 (1976)).

(2) TSUNEO BAN and TADASHI SEKIGUCHI : High-Frequency Characteristics of Weakly-Ionized, Steady Rotating Plasma (14, 1411 (1975)).

## II. 総説及びその他

### 1) ファルマシア

(1) 堀 幹夫, 清水 洋 : Thiabenzenes 環状硫黄原子における通しの共役は可能か (12, 468 (1976)).

(2) 牧 敬文 : 複素環におけるスマイル転位の研究と展開 (13, 525 (1977)).

(3) 江田昭英 : 抗アレルギー剤 (アレルギー反応によるメディエータ遊離と抑制する薬物) (14, 355 (1978)).

### 2) 粉体工学会誌

(1) 川島嘉明 : アルバータタールサンドの開発 (12, 398 (1975)).

### 3) 粉 碎

(1) 川島嘉明 : 湿式球形造粒 (21, 26 (1976)).

### 4) 医薬ジャーナル

(1) 川島嘉明 : マイクロカプセル化法による副作用の防止 (13, 53 (1977)).

### 5) 化学と薬学の教室

(1) 小瀬洋喜・公害に関する十二章 (VIII) (48, 45 (1975)).

(2) 小瀬洋喜 : 公害に関する十二章 (IX) (49, 27 (1975)).

(3) 小瀬洋喜 : 公害に関する十二章 (X) (50, 27 (1976)).

(4) 小瀬洋喜 : 公害に関する十二章 (XI) (51, 15 (1976)).

(5) 小瀬洋喜 : 公害に関する十二章 (XII) (53, 41 (1976)).

(6) 沢田英夫, 原 明, 藤田義彦, 石田保男, 石川道佳, 山原好信 : 徳島地方の赤血球酸性ホスフターゼ酵素型の分布について (46, 69 (1975)).

**6) PPM**

- (1) 小瀬洋喜, 佐藤孝彦, 加藤訓男, 森下正三, 石川哲也: 畜舎における悪臭対策とその環境整備 (6, (12) 14 (1975)).
- (2) 小瀬洋喜, 永瀬久光, 佐藤孝彦: オガ粉による悪臭吸着 (8, (5) 14 (1977)).

**7) 都市と廃棄物**

- (1) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (1) (5, (7) 34 (1975)).
- (2) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (2) (5, (8) 34 (1975)).
- (3) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (3) (5, (10) 34 (1975)).
- (4) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (4) (5, (11) 47 (1975)).
- (5) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (5) (5, (12) 38 (1975)).
- (6) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (6) (6, (2) 281 (1976)).
- (7) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (7) (6, (3) 38 (1976)).
- (8) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (8) (6, (4) 46 (1976)).
- (9) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (9) (6, (7) 51 (1976)).
- (10) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (後編1) (8, (1) 49 (1978)).
- (11) 微生物利用の廃棄物処理検討会: 微生物利用の廃棄物処理に関する技術開発 (後編2) (8, (2) 44 (1978)).

**8) 産業公害**

小瀬洋喜: 畜産排泄物の有効利用 (13, (8) 32 (1977)).

**9) 水野宏教授退官記念論文集**

小瀬洋喜: 学校環境管理とその問題点 (1976).

**10) 和漢薬シンポジウム**

江田昭英, 永井博弼: 和漢薬による腎炎治療の試み (8, 13 (1974)).

**11) 薬局**

江田昭英: 抗アレルギー剤の薬理作用 (27, 275 (1976)).

**12) 感染・炎症・免疫**

江田昭英: Slow reacting substance (SRS) (5, 115 (1975)).

**13) 臨床化学**

江田昭英: 抗アレルギー剤の免疫薬理学 (12, 1385 (1976)).

**14) 臨床成人病**

江田昭英: 喘息の化学的伝達物質と抑制剤 (6, 1063 (1976)).

**15) 薬の知識**

永井博弼, 江田昭英: アレルギーの病態生理 (27, (1976)).

**16) 新薬と治療**

江田昭英: 抗アレルギー剤 (28, 16 (1978)).

**17) 月刊薬事**

江田昭英: 薬物によるアレルギー反応の制御 (20, 987 (1978)).

## Ⅲ. 著 書

- (1) CHRISTOS CAPELLOS and BENON H. J. BIELSKI 著, 鍛冶健司訳, システム反応速度論 (地人書館) (1977)
- (2) 千田重男ほか (分担執筆): 最新有機薬品化学 (広川書店) (1977)
- (3) 河合 聡, 林 時司ほか (分担執筆): 最新液体クロマトグラフィー (南山堂) (1978)
- (4) 竹中英雄ほか (分担執筆): 最新薬剤学 (広川書店) (1977)
- (5) 杉浦 衛, 松丸秀夫, 小木曾太郎ほか (分担執筆) 不破龍登代監修: 薬剤学実験書 (広川書店) (1977)
- (6) 小瀬洋喜 (分担執筆): 環境衛生学: 悪臭防止技術マニュアル (環境庁大気保全局特殊公害課) (1976)
- (7) 江田昭英 (分担執筆) 藤村 一, 福田英臣監修: 薬物活性の前臨床的評価法 (抗アレルギー剤の前臨床的評価) (薬事日報社) (1975)
- (8) 江田昭英, 永井博弐, 渡辺茂勝, 坂本憲市 (分担執筆) 藤村 一, 福田英臣監修: 薬物活性の前臨床的評価法 (新アントラニール酸誘導体 N-5' の喘息治療剤としての前臨床的評価) (薬事日報社) (1975)
- (9) 石黒伊三雄, 沢田英夫ほか (分担執筆) 藤田啓介監修: 医学領域における生化学 (広川書店) (1976)
- (10) 大内幸雄, 水野瑞夫ほか (分担執筆): 中央高原大規模年金保養基地環境影響評価調査報告書 (岐阜県) (1975)
- (11) 水野瑞夫ほか: 自然環境保全地域候補地学術調査報告書 [板取川上流] (岐阜県) (1976)
- (12) 水野瑞夫ほか: 自然環境保全地域候補地学術調査報告書 [一位の森八幡神社] (岐阜県) (1977)
- (13) 水野瑞夫ほか: 岐阜県現存植生図 (岐阜県) (1977)
- (14) 水野瑞夫: 乗鞍スカイライン沿線植物群落の変遷学術調査報告書 (岐阜県) (1978)
- (15) 吉田甚吉, 粕谷豊ほか (分担執筆): フェルマシアレビュー No. 1・薬が世に出るまで (第7章 医薬品開発の経済的側面) (日本薬学会) (1978)